



よいお年を

校長 村上 裕江

年の瀬が近づくとつれ、寒さが厳しくなってきました。保護者の皆様、地域の皆様には、寒い中ではありますが、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の予防や対策のため、例年とは大きく異なった令和2年の本校の教育活動に、ご理解とご協力を賜りましたことは、教職員一同、厚く感謝申し上げます。皆さまのご支援のもと、小田小学校の子どもたちは、幸いなことに、「新しい学校生活」のルールを守って元気に過ごしております。子どもたちが、新しい世界に出会った一コマをご紹介します。

12月4日(金)、6年生が「ユニセフ」の出前授業を受けました。総合的な学習で、SDGsへの関心を深めている6年生にとって、地球規模で世界の子どもたちの現状を知ることは、自分たちの今の生活や、未来に向けての視野を広める良いきっかけになりました。校内では、ユニセフ募金も始まり、一人一人の思いが世界の子どもたちの支援につながることを実感できたことと思います。ユニセフ募金へのご協力、ありがとうございました。

12月15日(火)、「アンガーマネージメント」の講習会を行い、4年生が参加しました。日本アンガーマネージメント協会の堀部三智子先生が、わかりやすい例えを使って、感情を見つめる大切さを講演してくださいました。4年生は、自分の感情とそれに伴う言葉や行動を一人一人よく考えていました。自分を静かに、そしてしっかり見つめなおす時間となりました。

この「アンガーマネージメント」の講習会は、小田小学校中学校の併設型小中一貫校としての取り組みで、小田中学校でも行われ、中学生もレベルアップした内容を学んでいます。

この1年、次々と変化する状況の中、子どもたちの工夫していく創造力と、友達と協力し合う姿の温かさに、未来への希望と小田小学校中学校の学区の素晴らしさを改めて感じました。令和3年が、希望あふれる年となりますことを心から願っております。

最後になりましたが、1年間お世話になりました。皆様、どうぞよいお年を。